

教育科目	グループマネジメントⅡ		教育内容	グループマネジメントⅡ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. グループ作業に必要な情報伝達、マネジメント手法を習得する。						
授業概要	構成的グループエンカウンターなどのワークを通して、コミュニケーション技術、グループ運営の手法を体験から学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 振り返りレポートと出席率により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

授業計画表	
1	
2	
3	
4	
5	
6	導入
7	
8	説明
9	
10	内容
11	
12	振り返り
13	
14	
15	

教育科目	Web デザインⅢ		教育内容	Web デザインⅢ			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. デザインについて基礎知識を習得する。 2. 進化思考による創造性を育み、システム開発・アイデア発想力を習得する。						
授業概要	初めにデザインの必要性について学ぶ。その後、写真・図版やタイポグラフィなど情報伝達には欠かせない基礎知識を習得する。生成 AI を含めた、IT 技術について学びアイデアの発想技法について習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	太刀川 英輔『進化思考 [増補改訂版]』（海士の風）						

教育科目	JavaScript II		教育内容	JavaScript II			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. JavaScript 用ライブラリのひとつでデファクトスタンダードといわれる jQuery を利用し、DOM 操作やアニメーション、外部ファイルの読み込みなどの技術を習得する。						
授業概要	よく使われるスライドショーやスティッキーヘッダーを制作しながら、jQuery の基本構文を理解する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	株式会社シフトブレイン『jQuery 最高の教科書』（SB クリエイティブ）						

教育科目	国家試験対策Ⅲ		教育内容	国家試験対策Ⅲ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験に合格できる。						
授業概要	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各種検定の受験結果及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『基本情報科目 B 対策 STEP BY STEP 問題集』（インフォテック・サーブ） 『情報処理教科書 出るところだけ！基本情報技術者 [科目 B] 第 4 版』（EXAMPRESS）						

授 業 計 画 法		
1	<p style="text-align: center;">1. 導入</p> <p style="text-align: center;">2. 国家試験過去問</p> <p style="text-align: center;">3. 解説</p> <p style="text-align: center;">4. まとめ</p>	<p>各学生の習熟度に応じて対応して全員の基本情報取得をサポートする。</p> <p>また、基本情報の取得者には自習、Ruby シルバーや Java3 級に向けて勉強してもらおう。</p>
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

教育科目	総合実践Ⅲ		教育内容	総合実践Ⅲ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。 2. 複数人での合意形成、情報共有を行いながら複数人での作業に慣れる。						
授業概要	グループごとにデザイン、システム・企画の発案、設計、開発を行いながら複数人での開発作業を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

授 業 計 画 表

1	総合実践でやる内容の説明をする	やることの説明
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企画書の作成</li> <li>● 絵コンテの作成</li> <li>● Web サイトのワイヤーフレームの作成</li> <li>● Web サイトのデザインキャンプの作成</li> <li>● 日報の管理</li> </ul>	ウォーターフォールの開発の流れを知ってもらおう 職場と同じ開発工程をして、企業の開発手順に慣れてもらおう。 日報などで、班で情報共有してもらおう習慣を身につける。
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Web サイトの作成</li> <li>● 動画撮影</li> </ul>	<b>Web</b> サイトを作成して、HTML、CSS の知識を深める。 動画撮影をすることで、編集ツールの使い方や、動画の撮影の仕方を学んで、クリエイティブな動画を作成してもらおう
12		
13		
14		
15		
16		
17		

18		
19	Web サイトの作成	
20	動画撮影	Web サイトを作成して、HTML、CSS の知識を深める。
21		
22		動画撮影をすることで、編集ツールの使い方や、
23		動画の撮影の仕方を学んで、クリエイティブな動
24		画を作成してもら
25		
26		
27		
28		
29		
30		

教育科目	Python I		教育内容	Python I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. Python の一般的なクラスやメソッドの知識を習得する。						
授業概要	Python の一般的なクラスやメソッドの知識を習得し、AI を活用したプログラム作成の基礎を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	国本大悟『スッキリわかる Python 入門』(インプレス)						

教育科目	企業体験実習Ⅱ		教育内容	企業体験実習Ⅱ			実習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 企業での実践により、学んできたことを活かす。 2. 自分の能力を知り、更なる高みを目指す。						
授業概要	インターンシップ 実際の中で、現場のプロから指導を受ける。(事前指導1コマ、事後指導1コマを含む)						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 企業からの評価と出席率による。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

授 業 計 画 法		
1	企業様行く前の準備	メールの送り方や言葉づかいを学ぶ
2	インターシップ	内定先の企業に実際にインターンに行き、業務内容や職場の雰囲気をつかみ、入社後のギャップを少なくする。  さらには、言葉遣いやマナーを学んでより大人になる。
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17	お礼状の作成	お礼状の作成の仕方を学ぶ

教育科目	制作演習Ⅱ		教育内容	制作演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 就職活動の制作物の提示にむけて活用できる作品を制作する 2. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。 3. 開発に伴う文書作成、設計書の作成ができる。						
授業概要	自主的な制作物を検討、実際の開発を通してシステム設計から開発テストまで実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	メディア制作 I		教育内容	メディア制作 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	16 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. マルチメディアコンテンツの企画、制作をすることで、IT 技術の多角的な活用方法を習得する。						
授業概要	自主的な制作物を検討、実際の開発、コンテンツの制作を通して独創的、創造的なアイデアの創出力を養う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

授 業 計 画 表		
1	Web サイト制作 動画制作 ロゴ制作	Web サイト班は生徒の紹介するページを得て、HTML Css、javascript の書き方を総復習してもらおう。  動画班はどんな動画を作るか班で決めてもらい、編集 技術、録画技術を磨く。  ロゴ班は IT 学科を示す、ロゴを作成してもらいデザ インツールの使い方や、デザイン力を鍛える
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16	発表	発表

教育科目	JSP I		教育内容	JSP I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. JSP の一般的なアプリケーション開発方法を習得する。						
授業概要	JSP を学び、Web アプリケーション開発を行う						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 振り返りレポートと出席率により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	国本大悟『スッキリわかるサーバレット&JSP 入門 第4版』 (インプレス)						

教育科目	Web デザインⅣ		教育内容	Web デザインⅣ			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	23 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 画面設計に必要なデザイン理論を学び、UI 設計に必要な原理・原則などの知識を学ぶ。						
授業概要	数名のチームに分け、「UX 設計→UI 設計→デザイン」の手順で実際に Web サイト制作を実施する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 2 回		
	評定方法 テーマ課題による成果物と日々の提出課題にて総合評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	株式会社シフトブレイン『jQuery 最高の教科書』（SB クリエイティブ）、自主作成教材						

教育科目	国家試験対策Ⅳ		教育内容	国家試験対策Ⅳ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験に合格できる。						
授業概要	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各種検定の受験結果及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『基本情報科目 B 対策 STEP BY STEP 問題集』（インフォテック・サーブ） 『情報処理教科書 出るところだけ！基本情報技術者 [科目 B] 第 4 版』（EXAMPRESS）						

教育科目	プレゼンテーション I		教育内容	プレゼンテーション I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. プレゼンテーションに適した資料作成ができる。 2. プレゼンテーションに適した発声ができる。 3. 自分の考えをまとめ、他者へ伝えることができる。						
授業概要	テーマに沿った発表資料を作成し、実際にプレゼンテーションを行って資料・発表内容について振り返りを行いながらプレゼンスキルを高める。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 資料提出・発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	卒業研究 I		教育内容	卒業研究 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 思い描くシステムをプログラミング言語を使って開発できる。 2. 言語による特性を踏まえて、開発に使用する言語を選び出すことができる。						
授業概要	学習したプログラミング言語を活用し、自分の思い描くシステムを企画・開発する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 作品提出・発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	総合実践Ⅳ		教育内容	総合実践Ⅳ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	35 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。 2. 複数人での合意形成、情報共有を行いながら複数人での作業になれる。 3. 開発に伴う文書作成、設計書の作成ができる。						
授業概要	グループごとにウォーターフォールモデルを用いてシステム設計から開発テストまで実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	Ruby I		教育内容	Ruby I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	45 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 地元就職を念頭に基礎となる Ruby の文法、構文の練習を行うとともに、現場での開発で活用できる知識の基礎を身に付けることを目標とする。 2. Ruby 技術者認定試験 Silver の合格を目標とする。						
授業概要	Ruby 技術者認定試験 Silver の合格を目標に各種メソッドを中心に学びつつ、オブジェクト指向言語独特のプログラミング技術の学習を進めていく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	高橋征義、後藤裕蔵：著者 / まつもとゆきひろ：監修『たのしい Ruby』						

教育科目	Ruby II		教育内容	Ruby II			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 地元就職を念頭に基礎となる Ruby の文法、構文の練習を行うとともに、現場での開発で活用できる知識の基礎を身に付けることを目標とする。 2. Ruby 技術者認定試験 Silver の合格を目標とする。						
授業概要	Ruby 技術者認定試験 Silver の合格を目標に各種メソッドを中心に学びつつ、オブジェクト指向言語独特のプログラミング技術の学習を進めていく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	牧 俊男, 小川 伸一郎『最短突破 Ruby 技術者認定試験 (Silver/Gold 対応) 公式テキスト』						

教育科目	Rails I		教育内容	Rails I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. Rails のさまざまな規則やコマンド、ファイルの使い分け方を学習し、要求された動作を実現させるために必要なコードの記述、コマンドの実行などの作業ができるようになる。						
授業概要	Rails を構成する MVC 各役割ごとに、関連ファイルとコマンドを確認、コードを記述、画面・動作の確認をしながら作業を進めることで Rails の基本的な操作を学習していく。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	1 回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	山田祥寛『 Ruby on Rails アプリケーションプログラミング』						

教育科目	Rails II		教育内容	Rails II			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	<p>1. Rails のさまざまな規則やコマンド、ファイルの使い分け方を学習し、要求された動作を実現させるために必要なコードの記述、コマンドの実行などの作業ができるようになる。</p> <p>2. 要求された Web アプリケーションを構築する力を身に付ける。</p>						
授業概要	<p>Rails を構成する MVC 各役割ごとに、関連ファイルとコマンドを確認、コードを記述、画面・動作の確認をしながら作業を進めることで Rails の基本的な操作を学習していく。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1 回
	<p>評定方法 レポートの評価と出席率によって判定する。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	Java I		教育内容	Java I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	45 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. Java の構文を読み解くことができる。 2. Java の構文を使い、要求されたプログラムを記述することができる。						
授業概要	Java の構文、オブジェクト指向言語でのプログラミング手法を学習し開発ツールを使いこなして Java プログラミング能力認定試験 3 級を取得できる知識を身につける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験、各種検定の受験結果及び平常点 (検定試験結果を含む) により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	中山清喬、国本大悟『スッキリわかる Java 入門』(インプレス) サーティファイ『Java プログラミング能力認定試験 3 級過去問題集』(ウィネット)						

教育科目	Java II		教育内容	Java II			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. Java の構文を使い、要求されたプログラムを記述することができる。						
授業概要	Java の構文、オブジェクト指向言語でのプログラミング手法を学習し開発ツールを使いこなして要求されたプログラムを記述することができる技術と技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	中山清喬、国本大悟『スッキリわかる Java 入門』（インプレス） サーティファイ『Java プログラミング能力認定試験 3 級過去問題集』（ウィネット）						

教育科目	Android I		教育内容	Android I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. Android 向けアプリ開発に必要な知識を身に付ける。 2. Android の知識を使い、要求されたアプリ開発をすることができる。						
授業概要	Kotlin の文法を理解したうえで Android 向けアプリの仕組み、開発手順を学習していく。 Android アプリを構成する各コンポーネントとそのライフサイクルを理解する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験結果及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	WINGS プロジェクト 齊藤 新三『基礎&応用力をしっかりと育成！Android アプリ開発の教科書 第3版』（翔泳社）						

教育科目	Android II		教育内容	Android II			演習
学 科 開講学年	IT 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 各コンポーネントとそのライフサイクルが理解できる。 2. Android の知識を使い、要求されたアプリ開発をすることができる。						
授業概要	Android アプリを構成する各コンポーネントとライフサイクルを理解し、要求されたアクティビティ、ビューを使いこなし、アプリ開発する知識と技術を身につける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	2 回
	評定方法 成果物提出及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	WINGS プロジェクト 齊藤 新三『基礎&応用力をしっかりと育成！Android アプリ開発の教科書 第3版』（翔泳社）						